

令和5年度 事業報告書

いきいき藤枝ささえあいプラン ～ステージ2～



社会福祉法人 藤枝市社会福祉協議会

令和5年度 事業報告書



藤枝市社会福祉協議会は、『第5次藤枝市地域福祉活動計画（令和4年度から同7年度までの4カ年計画）』に沿って、さまざまな地域福祉・在宅福祉活動を展開しました。

令和5年度に取り組んだ重点事業は次の3つです。

- 重点① 地区社会福祉協議会の活動の多様化に対応した支援の強化**
- 重点② 講座や居場所づくり、交流会等を通じた障害者支援の強化**
- 重点③ 法人改善計画に基づいた業務効率化を推進**

重点事業への取り組み

① 地区社会福祉協議会の活動の多様化に対応した支援の強化 （地域）

市内10地区に地区担当と生活支援コーディネーターを配置し、地域で実施される会議や事業等の活動支援を行う中で上がってきた課題等を各地区の状況について職員間で共有するとともに、地区社協担当者相談会にて地域福祉アドバイザーから助言をいただき、地域に情報提供する等地区社協活動の強化を図りました。

また年間を通じ、活動強化につながる内容を盛り込んだ研修会や連絡会を開催し、地区社協が活動しやすい環境づくりと継続した支援を心がけました。

② 講座や居場所づくり、交流会等を通じた障害者支援の強化 （地域）

障害者サポーター養成講座を3回にわたり実施し、受講者に障害分野への理解を深めていただくとともに、関連事業の情報提供を行い、ボランティアとしてご協力いただく等、地域での新たな担い手の確保に努めました。

また、福祉サービス等日中活動以外で社会とのつながりを作ることができる場をつくるため、夕方以降の居場所「夕焼けサロン」を開催し、障害者支援の強化につなげました。

③ 法人改善計画に基づいた業務効率化を推進 （総務管理課）

勤怠管理システム導入部署の拡大、就業規程を始めとする各種規程・規則の見直し、計画的な職員の採用に取り組みました。令和6年度に取り組む次期地域福祉活動計画及び法人中期経営計画策定に向け、企画計画係の新設など、管理部門の機能強化に向けた組織機構の改編を行い、更なる法人運営の健全化と経営基盤の強化に取り組みました。

基本目標 1 交流とつながりを深める地域づくり

地域共生社会に関する意識の醸成に向け、学校との連携や地域におけるセミナーの開催、地域福祉に関する情報発信を充実するとともに、世代間交流をはじめとする交流機会の提供、地区社協への支援等を通じて、地域におけるふれあいの機会を創出しました。

1 地域共生の意識づくり

(1) 住民主体の地域福祉推進に向けた福祉教育

①学校における福祉教育の推進

ア. 福祉教育実践校事業

児童・生徒の福祉への理解と関心を高めるため、市内の福祉教育実践校（小中学校、高等学校）と連携して、福祉に関する講話や体験学習などの福祉教育の実践を推進しました。

公立小中学校 ・・・ 27 校（市内全校）

高等学校 ・・・・ 4 校（藤枝北高、藤枝西高、静清高、藤枝東高） 計 31 校

助成金：14 校 602,000 円

《各実践校の実施状況》

学校名	時期	内容等
瀬戸谷小学校	5月、7月	(1年)七夕飾りづくりでお年寄りと交流 (6年)介護士の講話と仕事体験
稲葉小学校	通年	(1、2年)老人会との交流会(ランドゴルフ・昔の遊び) (3、4年)グリーンヒルズとの交流 (5年) 高齢者疑似体験 (5、6年)友愛訪問 (全校生徒)「ありがとうステージ」誰にどのような感謝の気持ちを表すか話し合いを行う
葉梨小学校	通年	(5年)バリアフリーについての調べ学習、ユニバーサルデザイン探し、点字、手話体験、「難聴」理解のための講話 (6年)キャリア教育の一環として様々な職業を知る
西北小学校	4月～7月	(4年)視覚障害者疑似体験、ユニバーサルデザインを知る
広幡小学校	5月～2月	(2年)みんなが使う場所の工夫やひみつ (3年)盲導犬ユーザーとの交流 (4年)広幡の防災について、ユニバーサルデザインを学ぶ (5年)SDGsから学ぶ (6年)福祉の仕事を知ろう
西益津小学校	通年	(1、2年)西益津の昔を伝える紙芝居を聞く (3、4年)田中城や昔の暮らしについて地域の方にお話を聞く

		(5年)福祉についての学習、ゲストを招いての講話 (6年)福祉の仕事講座、地域ボランティアの方へ感謝の手紙の作成
藤岡小学校	9月7日、10月4日、11月28日	(5年)白杖・アイマスク体験、聴覚障害者の講話、高齢者疑似体験、福祉で学んだことの発表
藤枝小学校	通年	(4年)福祉について知ろう、バリアフリーについて考えよう、調べたことをまとめて発表会
藤枝中央小学校	通年	(4年)高齢者疑似体験、視覚障害者による講話、アイマスク体験
青島小学校	通年	(4年)特別支援学級)福祉についての講話、ユニバーサルデザインについて学ぶ、福祉マークを知る、パンフレットから福祉を知る、視覚障害者による講話、白杖・アイマスク体験、車いすユーザーによる車いす体験、調べ学習、発表
青島東小学校	通年	(4年)福祉ってどんなこと?、ユニバーサルデザインって何だろう、体の不自由な方の思いを聞いてみよう、高齢者疑似体験、調べ学習・発表
高洲小学校	通年	(全校生徒)毎週金曜日、朝の15分をボランティアサービス活動として全校児童と全職員で校内の奉仕作業を行う、アルミ缶の回収、点字・アイマスク体験
高洲南小学校	通年	(4年)ユニバーサルデザイン出前講座、聴覚障害者による講話、脳性麻痺の方の講話、視覚障害者による講話、高齢者疑似体験、車いすバスケットプレイヤーによる講話・体験、盲導犬協会の講話
大洲小学校	5月～12月	(4年)藤枝特別支援学校の先生の講話、藤枝特別支援学校との交流、視覚障害者による講話、聴覚障害者による講話
朝比奈第一小学校	通年	(3年)福祉ってなに?、白杖体験、つながるふくしの7つの言葉、手話、盲導犬、ユニバーサルデザイン出張出前講座、点字体験、福祉のお仕事について (4年)福祉交流会の計画・交流会・振り返り
岡部小学校	9月～2月	(3、4年)高齢者から昔の岡部のお話、視覚障害について、白杖体験、身体障害について、車いす体験、聴覚障害について、発表
瀬戸谷中学校	通年	(全校生徒)地域高齢者との交流、ガゼルの森の園児との交流、赤い羽根共同募金、能登半島地震の募金
葉梨中学校	通年	(2年)福祉について、市や地域の取組について、地域の高齢者について、高齢者疑似体験、開寿園との交流

広幡中学校	7月、9月、1月	(全校生徒)講話「夢をつかむため」佐藤友祈氏 (2年)福祉クイズ、フォトランゲージ (3年)保育園児との交流
西益津中学校	通年	(2年)テーマ「誰にとっても居心地の良い西益津」の探求、(実践例)公園の草取り、道路のゴミ拾い、学校の案内図の作成、高齢者移動支援の補助、高齢者サロンへの参加
藤枝中学校	通年	(全校生徒)ユニセフ募金活動、赤い羽根共同募金、人権について考える活動 (3年)乳幼児とのふれあい活動
青島中学校	通年	(全学年)能登半島への義援金、古着回収、赤い羽根共同募金 (2年)東日本大震災の語り部から講話 (3年)SDGsプロジェクト
青島北中学校	通年	(生徒会)福祉施設訪問、赤い羽根共同募金、能登半島への募金活動 (2年)福祉学習・講話、アイマスク体験、共生社会への理解を深める学習 (3年)防災学習・講話、防災体験
高洲中学校	7月、2月	(全校生徒)高洲小学校・高洲南小学校で朝のあいさつ運動、キャリア教育におけるパネルディスカッション
大洲中学校	通年	(1年)障害者雇用について学ぶ、特別支援学校の生徒と交流、特別支援学校の先生の仕事を学ぶ (2年)市立病院の方から防災、減災について学ぶ 高齢者の防災について探求し愛華の郷の職員にプレゼントを行う (3年)藤枝ローカルSDGs、わかばこども園で保育実習 (生徒会)各種募金活動、エコキヤップ回収、落ち葉清掃、小学校であいさつ運動、能登半島義援金集めと励ましのメッセージカードを送る
岡部中学校	6月～9月	(1年)福祉について (2年)高齢者疑似体験 (全校生徒)古紙、アルミ缶回収
藤枝東高校	通年	(JRC部)日本赤十字青少年メンバー研修の参加、放課後デイサービス支援、幼稚園のボランティア、募金活動
藤枝北高校	5月～12月	(地域福祉実践選択者)施設訪問・実習
藤枝西高校	通年	(日本文化部)琴演奏ボランティア (家庭部)ガゼルの森へボランティア訪問(週1回) (全校生徒)ガゼルの森の園児と交流
静清高等学校	通年	(2年)日赤奉仕団による防災食作り、「青少年の食育」栄養講座と調理実習 (生徒会)赤い羽根共同募金

イ. 福祉教育実践校連絡会

学校・地域講師・市社協が共通認識をもって福祉教育を推進するため、福祉教育実践校の福祉教育担当教員を対象にした福祉教育実践校連絡会を2回開催しました。第1回は、学校と地域講師の連携を深めるため、地域講師連絡会と合同で実施しました。

【第1回】

実施日：令和5年6月5日

会場：藤枝市生涯学習センター

内容：講話「ともに生きるちからを育む 福祉教育」

講師：Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

参加者：46人

【第2回】

実施日：令和6年2月8日

会場：藤枝地区交流センター

内容：今年度の実践報告（西益津中学校）

今年度の福祉教育の活動について学校の活動内容紹介（市社協）

意見交換（今年度のふりかえり、来年度に向けて）

参加者：32人

②地域講師の活動支援

ア. 地域講師連絡会

①イ. 福祉教育実践校連絡会と合同で実施

イ. 高齢者疑似体験インストラクター養成講座

高齢者への理解を促進し、地域で高齢者を支えていくため、高齢者疑似体験を行うインストラクターとして学校や地域で活躍できる人材を育成することを目的に養成講座を開催しました。

実施日：①令和5年8月3日 ②令和5年8月10日

会場：福祉センター きすみれ

内容：①年を重ねることにより起こる心身の変化などを学び、高齢者に対する理解を深める

②高齢者疑似体験インストラクターになるための実践的な講習

参加者：6人

修了生：6人

③中高生福祉体験事業

中高生の福祉への理解や関心を深めるため、中高生の希望者を対象とし、日頃の授業や部活動では体験できないような福祉に関するセミナー、高齢者との交流体験を実施しました。

実施日：令和 5 年 8 月 4 日
会 場：福祉センター きすみれ
内 容：講座「福祉のお仕事魅力発見セミナー」、
生きがい対応型デイサービスセンター「きすみれの里」利用者との交流
講 師：静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉人材センター
参加者：11 人

④大人のための福祉講座

日ごろ、福祉について学ぶ機会が少ない社会人を対象に、一人ひとりが福祉について考える機会をつくることを目的に講座を実施しました。今年度は「発達障害」に対する理解を深めることをテーマとしました。

【第 1 回】

実施日：令和 5 年 12 月 9 日
会 場：藤枝市生涯学習センター
内 容：映画上映「はざまに生きる、春」
参加者：111 人

【第 2 回】

実施日：令和 6 年 2 月 25 日
会 場：高洲地区交流センター
内 容：講話「発達障害について」、意見交換
講 師：静岡市成人発達障害セルフヘルプグループ PrismStation(プリズムステーション)
参加者：47 人

⑤障害者サポーター養成講座（全 3 回）

障害があるために生活のしづらさを感じながら生活をしている人が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民の障害に対する理解を深め、地域で支え合う仕組みづくりを進めていくために実施しました。（全 3 回 参加者 11 人）

【第 1 回】勉強会

実施日：令和 5 年 10 月 18 日
会 場：葉梨地区交流センター
内 容：障害の理解を深めるための講座「障害者人生 回想 50 年の決算」
講 師：特定非営利活動法人おのころ島 理事長 井出 一史 氏

【第 2 回】交流会

実施日：令和 5 年 10 月 25 日又は 26 日又は 27 日
会 場：市内 6 事業所 （協力施設：もくせいの家、南部すみれの家、ハルモニア、
藤枝第一心愛、ポップライフ、おのころ島）
内 容：障害者支援事業所利用者との交流、勉強会

【第3回】振り返り会

実施日：令和5年11月1日

会 場：葉梨地区交流センター

内 容：グループワーク「同じ地域に住む私たち、一人ひとりの役割について考えよう」

講 師：特定非営利活動法人おのころ島 理事長 井出 一史 氏

⑥心の温暖化計画～交流会だよ全員集合！！in青島～

障害に対する理解を深め、誰もが暮らしやすい地域づくりを進める目的に、青島地区にある障害福祉サービス事業所と青島地区住民との交流会を実施しました。

実施日：令和6年2月7日

会 場：青島南地区交流センター

内 容：事業所紹介、グループで自己紹介タイム、ゲームで交流、輪投げ大会、ビンゴ

参加者：52人（地区社協役員、企画委員、青島地区住民、青島地区内障害福祉サービス利用者等）

（2）住民参加による生活支援

①生活サポートサービス「キー坊大縁隊」おおえんたい

支え合う地域づくりを推進するため、サポートを必要とする人に、地域住民が清掃やごみ出し、草取りなどの支援を行う、住民相互で支え合う会員制の生活サポートサービス「キー坊大縁隊」による生活支援を行いました。

《登録状況》・・・・・ 利用会員 33人／サポーター 35人

（前年度 利用会員43人／サポーター 47人）

《主なサービス内容》・・ 利用者宅の日常的な清掃、草取り、ゴミ出し、話し相手 等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
依頼件数	51	44	52	37	38	39	39	40	34	33	39	30	467件	533件
実施延べ件数	52	44	55	37	38	39	40	49	40	41	45	36	516件	562件
実働延べ時間	31	23	36	20	15	17	29	33	29	29	28	27	317時間	327時間
利用会員実人数	15	14	17	11	12	12	12	14	12	12	9	9	月平均 12.4人	月平均 14.3人
サポーター活動人数	13	14	16	12	12	13	15	13	14	13	11	10	月平均 13.0人	月平均 11.3人

（3）地域福祉活動に関する情報発信

①広報・啓発事業

ア. 社協だより

本会の事業を広く地域住民に伝えるため、「ふじえだ社協だより」No.230、No.231、232、233を発行し、市内全戸に配布し啓発を図りました。

イ. ホームページの管理、プレスリリース

ホームページの随時更新やプレスリリースの送付など情報発信を行いました。

ウ. 点字・声の広報発行事業（一部 市委託事業）

視覚に障害のある人の情報保障や社会参加促進を図るため、ボランティア団体の協力を得て「ふじえだ社協だより」「広報ふじえだ」「藤枝市議会だより」の声の広報の及び点字広報を作成し配付しました。

i) 声の広報作成事業（ふじえだ社協だより 4回、市広報 24回、市議会だより 4回）

協力団体：サークルふじ

発行部数：16 部（14 部を利用者に送付、2 公共施設に 1 部ずつ送付）

利用者数：14 人

ii) 点字広報作成事業（ふじえだ社協だより 4回、市広報 24回、市議会だより 4回）

協力団体：ピッコラ、点訳サークルひまわり

発行部数：5 部（2 部を利用者に送付、3 公共施設に 1 部ずつ送付）

利用者数：2 人

エ. 市社協の活動PR

必要な情報をリアルタイムに住民に届けるため、LINE と Facebook などの SNS を活用した情報発信を行いました。

	LINE	Facebook
令和 5 年度新規登録者	108	33
前年度総登録者	122	237
総登録者数	230	270

②藤枝市健康福祉大会の開催

広く住民に健康・福祉の啓発を行うため、市と共に藤枝市健康福祉大会を開催し、市社協会長表彰を行いました。そのほか、ステージにて動画上映・中学生による活動報告・ダンスを行い、展示・物品販売ブースにて福祉施設や福祉団体の活動 PR・物品販売を行いました。同時に地域の活力向上などに取り組んだ 75 歳以上を対象に表彰する市の「元気はつらつシニア大賞」の授与も行われました。

開催日：令和 5 年 9 月 30 日

会場：藤枝市民会館

内容：表彰、ステージ発表（おのころ島・青島北中学校

ダンスカンバセーションクルー）

ロビーにて展示・物品販売ブースの開設

参加者：約 440 人

◆◆◆成果◆◆◆

今年度、実践校連絡会と地域講師連絡会を合同で開催したことに加え、新型コロナウイルスが5類になり対面での福祉教育が再開されたことを受け、実践校においては、学校・地域講師・市社協が連携して子どもたちの学びを深める福祉教育活動が盛んに行われるようになりました。また、地域からも学校からも、お互いのつながりを求める声が多く聞かれ、今後の地域福祉教育の重要性を再認識することができました。

健康福祉大会において、表彰の場を設け、日頃から地道に福祉活動を行っている人に敬意を表し、その活動を讃えることで継続とやりがいを見出し、市全体の地域福祉活動の活性化の促進につなげました。また、新型コロナウイルスが5類に移行し、実施内容に制限のない大会であり、市内中学生の活動報告やダンス等のステージ発表、ロビーでの活動紹介やパネル展示を行い、約440人の参加者へ健康や福祉に関する啓発を行うことができました。

◆◆◆課題◆◆◆

今後は学校だけでなく、地域全体の福祉力の底上げにつながるよう、地域・企業に向けた福祉教育の展開が課題です。

健康福祉大会の来場者は、福祉関係者が多く、参加者に偏りがある状況です。学生から子育て世代、高齢者世代まで幅広い市民が参加する大会とすることが課題です。

2 ふれあいを深める地域づくり

(1) ふれあいの場・居場所づくりの推進

① ふれあいサロン

住み慣れた地域で日常的に集まり、楽しめる居場所づくりを推進するため、地区社協及び福祉団体など地域のボランティアが運営するふれあいサロンへ助成を行うとともに、新規のサロンの立ち上げや、運営に関する支援を行いました。

登録人数：会員1,813人、ボランティア995人

内 容：各種講話、健康体操、レクリエーション等

実 施：76カ所（高齢者73、子育て3）

《高齢者サロン》

実施地区	サロン数	前年度比	対象地域
瀬戸谷	3	0	市之瀬、中里、滝ノ谷
稲葉	3	0	堀之内、谷稲葉、助宗
葉梨	9	0	白藤、第2自治会、上藪田、下藪田、高田、清里、時ヶ谷第1、時ヶ谷第2・4、時ヶ谷第3
広幡	8	0	水守、八幡、鬼島、上当間、下当間、仮宿、潮、横内
西益津	10	0	郡2、長楽寺2、田中3、益津下、平島第1、平島第2(2カ所)、平島第3、平島第4、稻川
藤枝	8	0	原、木町、市部、藤岡、五十海、千歳、藤岡4、本町
青島	11	0	田沼南、メゾングランツ藤枝、駿河台、志太、新南新屋、芙蓉台、追分西、青南町、瀬古1・2、瀬古3、青島第4自治会
高洲	8	0	高柳仁平、高柳切島、兵太夫中、兵太夫上1~4、兵太夫上第5、与左衛門(2カ所)、大新島
大洲	4	0	大東町、弥左衛門、泉町、忠兵衛
岡部	8	0	第2自治会(旧第2)、第4自治会、第5自治会(旧第6)、第5自治会(旧第7)、村良、横添、旭ヶ丘、本郷
市全域	1	0	

助成金：73 サロン中 63 サロン／計 3,915,500 円

《子育てサロン》

実施地区	サロン数	前年度比	対象地域
青島	2	0	田沼南、前島
藤枝	1	0	藤枝地区

助成金：3 サロン／計 252,000 円

②おいで

年齢や障害の有無に関わらず、いつでも誰でも気軽に立ち寄れ自由に過ごすことができる地域の居場所づくりを促進するため、地域のおいで事業を行う団体に対し助成を行うとともに情報提供等の支援を行いました。

実施：7 カ所

実施地区	数	名称
広幡	1	ほっとな居場所 おんじま
藤枝	1	おはなし長屋
青島	3	くつろぎカフェ かいらハウス、なごみの会、ほっとな居場所 輪笑
高洲	2	古民家カフェ ぶらり、よってこ高洲

助成金：1 団体／計 100,000 円

③ふれあい会食会

地域の人との交流や高齢者福祉の向上及び介護予防のため、一人暮らし高齢者と一人暮らし高齢者に準ずる人を対象に、各地区でおよそ月1回、自治会や民生委員・児童委員、ボランティアの協力により運営するふれあい会食会へ助成を行うとともに運営に関する支援を行いました。

実施地区：瀬戸谷、葉梨、広幡、西益津、藤枝、高洲、大洲

登録人数：会員166人、ボランティア61人（前年度 会員168人、ボランティア65人）

内 容：各種講話、健康体操、レクリエーション等

助 成 金：7団体／計939,500円（前年度 7団体／計948,600円）

④地域の居場所

地域の居場所づくりを促進するため、新たな助成金要綱を整備し、これまで助成金の対象とならなかった団体に対して活動費の助成を行いました。

実 施：6カ所

実施地区	数	名称
葉 梨	1	はなしカフェ下藪田
西益津	1	西益津いきいきランド
藤 枝	1	子どもの本 まりー文庫
青 島	2	田沼支え愛の会しゃべりばアイビー、健康遊々デー
大 洲	1	おいで おおす

助成金：6団体／計253,500円

⑤夕方以降の居場所「夕焼けサロン」【新】**重点②**

障害のある人が通所施設等から帰宅後に家庭以外の場で社会とつながりを作ることができる場をつくるため、夕方以降の居場所として「夕焼けサロン」を開催しました。

実施日：①令和5年12月15日、②令和5年12月26日、③令和6年2月2日

会 場：①③福祉センターきすみれ、②生活介護事業所ポップライフ

参加者：①14人、②29人、③21人

⑥子ども食堂支援事業

子どもへの食事の提供や孤食の解消のため、子ども食堂実施団体への情報収集を行うとともに、寄附や助成金に関する情報提供などの支援を行いました。

藤枝市内の実施団体：5団体

⑦ふれあいサロン・会食会パワーアップ講座

広報紙の役割や必要性について理解を深め、各地区で発行している地区社協だよりや各サロン・会食会のチラシ等の充実を図るために実施しました。

実施日：令和5年10月13日

会場：藤枝市生涯学習センター

内容：講義「伝わる」広報紙・チラシ作り、グループワーク「チラシを作つてみよう」
ワンポイントアドバイス

講師：Printコーディネーター 窪口 真吾 氏

参加者：62人

(2) 地区社協への支援

①地区社協活動への助成 **重点①**

ア. 地区社協運営助成金及び地区社協地域福祉活動事業助成金

住民主体の地域福祉活動を推進するため、各地区社協へ運営費及び各種事業に対する事業費の助成を行いました。

《助成詳細》

助成の区分	対象	助成合計額
地区社会福祉協議会運営助成金	10地区	5,052,930円
地域福祉活動事業助成金	福祉推進事業	1,327,000円
	地域福祉懇談会	175,000円
	ふれあいまつり	1,100,000円
	実行組織をつなぐ事業	82,000円
	実行組織活動支援	325,000円
	小計	3,009,000円

《福祉推進事業内容》

地 区	福祉推進事業
瀬戸谷	①ジュニア福祉委員活動 ②広報紙の発行 ③三世代交流活動（ウォーキングフットボール大会）
稲葉	①ジュニア福祉委員活動 ②広報紙の発行 ③三世代グラウンドゴルフ大会
葉梨	①福祉講演会 ②広報紙の発行 ③三世代交流グラウンドゴルフ大会
広幡	①広報紙の発行 ②三世代交流輪投げ大会 ③福祉講座
西益津	①福祉講演会 ②広報紙の発行 ③三世代歩け歩け運動
藤枝	①福祉講演会 ②広報紙の発行 ③ふれあいグランドゴルフ大会 ④三世代交流親子ふれあい教室 ⑤中学生と幼児のふれあい体験講座
青島	①老人憲章事業（小中学生作文・絵手紙） ②老人憲章事業（米寿の方への絵手紙） ③広報紙の発行 ④秋の健康ウォーキング大会
高洲	①広報紙の発行 ②住民福祉講座 ③防災研修会 ④子ども福祉講座 ⑤三世代ふれあいイベント交流

大洲	①ジュニア福祉交流会 ②大人のためのボランティア講座 ③中学生ボランティア講座 ④広報紙の発行 ⑤大洲ふれあい健康ウォーキング ⑥大洲ふれあいスポーツの集い
岡部	①広報紙の発行 ②住民福祉講座 ③子ども福祉講座 ④高齢者世帯・一人暮らし世帯 友愛訪問事業

②地区社協活動の基盤整備 **重点①**

地区社協の活性化を図るため、総会や理事会等の役員会、専門部会、企画委員会への出席、地域福祉懇談会開催に向けての打合せ、そこでのグループワークの進行や情報共有のための話題提供・現状報告、新しい事業の実施に向けた調整や打合せ等を行いました。

ア. 地区社協の企画委員会機能の強化支援

各地区社協で開催される企画委員会に出席し、地域が抱える課題解決に向けた話し合い等を活発に行えるよう、運営のサポートを行ったほか、企画委員のレベルアップのため、企画委員情報交換会を開催しました。

《企画委員情報交換会》

実施日：令和6年2月29日

会場：藤枝市生涯学習センター

内容：①各地区企画委員会の活動状況について

報告者 葉梨地区社会福祉協議会 企画委員長 小池 富士夫 氏

②講話「企画委員会は地区社協の要！企画委員会の役割について考えよう」

講師 藤枝市社協地域福祉アドバイザー 山本 伸晴 氏

参加者：54人

イ. 地区社会福祉協議会連絡会の実施

各地区社協が取り組む活動が地域にもたらす効果や活動における悩み等を情報交換・共有することで、それぞれの活動をさらに活性化させていくことを目的に、連絡会を開催しました。

《新任役員・企画委員研修会》

実施日：令和5年4月18日

会場：岡部支所分館市民ホール おかべ

内容：①講演「地域福祉とは」

講師：藤枝市社協地域福祉アドバイザー 山本 伸晴 氏

②藤枝市の地区社協活動について

③地区社協の4つのはたらき・役割、行動目標・行動方針について

参加者：49人

《全体連絡会》

【第1回】

実施日：令和5年4月18日

会 場：岡部支所分館 市民ホール おかべ

内 容：①令和5年度の地区社協への支援について

②講演「地区社協はなぜ必要なのか？」

講 師：②藤枝市社協地域福祉アドバイザー 山本 伸晴 氏

参加者：74人

【第2回】

実施日：令和6年2月29日

会 場：藤枝市生涯学習センター

内 容：①地域福祉懇談会からみえた地域課題と課題解決に向けた取り組みについて

報告者・藤枝地区社会福祉協議会 企画委員長 亀澤 幸子 氏

・高洲地区社会福祉協議会 高齢者・障害者部会長 工藤 敏明 氏

②講話「地域福祉懇談会からみえた地域課題をどう解決へと繋げるか」

講 師：②藤枝市社協地域福祉アドバイザー 山本 伸晴 氏

参加者：79人

ウ. 各地区社協の行動目標・行動方針の周知、進行管理支援

各地区社協が策定した行動目標・行動方針の推進に向けて、具体的な取り組みを支援しました。

③地域福祉アドバイザーの配置

地域福祉を効果的に推進するため、地域福祉研究所 山本 伸晴 氏を地域福祉アドバイザーに委嘱しました。アドバイザーから本会の地区担当職員が地区社協活動を支援する上での困りごとや悩みごとについて、相談会や電話相談により解決に向けた助言を受けました。

【地区担当者相談会】

実施日：令和5年6月27日、令和6年1月26日、3月1日

会 場：福祉センターきすみれ

④地域福祉講演会

実施日：令和5年6月29日

会 場：藤枝市生涯学習センター

内 容：講演「一人ひとりの「できる」で支え合う地域づくり」

講 師：ご近所福祉クリエーター 酒井 保 氏

参加者：72人

◇◆◇成果◇◆◇

高齢者ふれあいサロンやふれあい会食会などへの支援により、地域に集いの場が確保され、外出したり、仲間と楽しく笑い合ったりすることで生活にメリハリが生まれるなど、高齢者の介護予防及び生きがいづくりに寄与することができました。地域の人たちが集い、お互いに見守りあう関係が緩やかに構築されることが、地域福祉の推進につながりました。

また、令和5年度に新たに取り組んだ夕方以降の居場所は、参加者とともに料理をしたり、穏やかにお茶を飲んで会話をするなどと、家庭以外の場で社会とつながりをつくることができたと、大変好評をいただいています。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍前の動きを取り戻しつつある地域活動の中で、2年目の取り組みがなされている「地区社協行動目標・行動方針」の推進に向け研修会や連絡会を実施し、アフターコロナの中での活動に有効な情報交換等に努めました。

◇◆◇課題◇◆◇

ふれあいサロンやふれあい会食会においては、ボランティアの高齢化等の問題により、活動を継続していくことに不安を感じている団体が増えてきているため、新たな担い手の発掘や今後の活動を支える体制の再構築が課題となっており、長期的な取組が必要です。

また、夕方以降の居場所においては、会場までの交通手段がないために参加を諦めている人がいるとの声を聞いているため、移動手段の確保が今後の課題です。

ふれあいの場・居場所など新しく立ち上がっていますが、一部の役員に負担がかかってしまうため、新しい担い手の確保が必要です。

基本目標2 安心して地域で暮らせるまちづくり

地域における見守り活動や地域課題の早期発見・早期解決が可能な地域づくりを進めるとともに、安心して過ごせるように緊急時や発災時に備えた防犯・防災対策や、年齢や性別、身体の状況にかかわらず快適に暮らすための環境整備を進めました。また、誰もが自分らしく活躍できるまちづくりを進めるために、市民の権利が守られるまちづくりを推進しました。

1 孤立させない地域づくり

(1) ふれあいの場・居場所づくりの推進【再掲】

2 防犯・防災の地域づくり

(1) 災害ボランティアの活動支援

① V C Fへの支援

有事の際、円滑に災害ボランティアセンターを運営するため、V C F（災害ボランティア・コーディネーター藤枝）の定例会に出席するなどし、連携強化や情報共有を行いました。

出席回数：12回（うち、総会1回）

②災害ボランティアセンター支援に関する連携協定の締結

地震や風水害などの大規模災害が発生し、市社協が災害ボランティアセンターを設置・運営する際に、要請に応じて必要な設備・資機材の提供、人的・物的支援の提供等の協力をいただくために、藤枝協力雇用主会と連携協定を締結しました。

実施日：令和6年3月28日

会場：福祉センターきすみれ

既存の協定団体：深谷市社協、白山市社協、藤枝市ライオンズクラブ、一般社団法人 藤枝青年会議所、藤枝市協力雇用主会

(2) I C T（情報通信技術）を活用した災害ボランティアセンターの機能強化

①災害ボランティアセンター運営連絡会

災害ボランティアセンターの開催及び運営を円滑に行うため、災害ボランティアセンター運営連絡会を開催し、関係機関と情報共有を行いました。

実施日：令和5年8月30日

内容：今後の災害ボランティアセンター開設条件等について

関係機関：市大規模災害対策課、市地域防災課、市介護福祉課

②災害ボランティアセンター運営訓練

「藤枝市災害ボランティアセンター」の役割と立ち上げ過程、運営方法（I C Tの活用方法を含む）について理解し、円滑かつ効果的に運営するため、葉梨地区社会福祉協議会と共に灾害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。令和4年に発生した台風15号におけるセンター立ち上げ時の課題を踏まえ、老老世帯など自らSOSを出しにくい世帯などの事例をもとに、困りごとをどう把握し、どのように支援へつないでいくかを考えるためのワークを取り入れるなど、訓練内容を見直して実施しました。

実施日：令和5年9月9日

会場：葉梨地区交流センター

参加者：70人（葉梨地区社協56人、VCF、県社協、藤枝市）

③災害ボランティアコーディネーター ステップアップ講座

災害ボランティアコーディネーターの役割を再認識し、災害が発生した際にどのような対応をしたら良いか、また、普段からできることについて理解を深め、現地調査に入る際の視点や留意すべき点を学び、参加者で共有することを目的に実施しました。

開催日：令和6年1月13日

会場：葉梨地区交流センター

内容：①令和4年台風15号に係る藤枝市災害ボランティアセンター活動の振り返り

被災後の地域の役割を考える

②VCFの紹介

③現地調査における災害ボランティアコーディネーターの役割や注意点について

講師：河津桜ボランティアセンター代表・松崎町防災アドバイザー 玉木 優吾 氏

協力：災害ボランティア・コーディネーター藤枝（VCF）

参加者：47人

(3)周辺市町との連絡調整

①志太榛原地区社協災害時広域連携推進事業

発災時に近隣社協間で災害ボランティアセンター運営に関して相互支援ができる関係を築くため、情報交換や研修会を実施しました。

《打合せ》

実施日：令和5年4月20日、6月7日、12月26日、令和6年1月19日、2月1日

(ZOOM開催)

内 容：研修会打合せ、振り返り、情報交換 他

《研修会》

【第1回】

実施日：令和5年11月30日 (ZOOM開催)

内 容：社協におけるBCPについて

講師 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

参加者：4市2町社協職員51人

【第2回】

実施日：令和6年2月8日

内 容：災害時の協働と広域連携を考える～わたしたちの役割～

①基調講演「令和6年能登半島地震・令和4年台風15号

災害から災害時の協働と広域連携を考える」

②グループワーク「災害時の協働と広域連携」

講 師：①Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

②静岡県社会福祉協議会 経営支援課 渡邊 麻由 氏

会 場：牧之原市相良総合センター いへら

参加者：40人

◆◆◆成果◆◆◆

運営訓練では、令和4年の台風15号被害における災害ボランティアセンター立ち上げ実績を踏まえ、内容を見直し開催しました。センターの在り方と運営、コーディネーターの役割について実体験を交えた運営訓練を展開することで、今まで以上に理解を促すことができました。

また、VCFの定例会における情報共有、志太榛原地区広域連携事業における定期的な打合せ、藤枝協力雇用主会との協定締結等、災害が発生した際に備えて、関係機関や団体とのつながりをつくることができました。

◆◆◆課題◆◆◆

ICTを活用した令和4年度の災害ボランティアセンターの運営状況から、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しが必要であり、今後、改訂に向けて関係機関と協議を進めていきます。

3 人にやさしいまちづくり

(1) 権利擁護の推進

①成年後見支援センター事業（市委託事業）

判断能力が不十分な人の財産や権利を保護するため、市から委託を受け、福祉センターきすみれ内に成年後見支援センターを設置し、成年後見制度に関する相談や制度の周知、申立支援等を行いました。このうち、内容が特に複雑な案件については、司法書士による相談につなげました。

ア. 成年後見支援センター相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
相談件数	14	23	11	11	12	12	15	25	24	23	24	24	218 件	216 件
内、司法書士権利擁護相談件数	2	0	2	2	0	1	1	2	0	1	0	1	12 件	14 件

イ. 権利擁護検討会議の開催

適切な支援方法の検討や受任調整について、リーガルサポート静岡の司法書士の協力得て開催しました。

②市民後見人育成事業

高齢化社会の進行に伴い、後見人を要する人の増加が見込まれるため、地域の力で権利擁護を推進するため、市民後見人の養成を行いました。

ア. 第7期市民後見人養成講座

《事前説明会》

実施日：①令和5年5月20日、②令和5年5月25日

会場：①焼津市総合福祉会館、②島田市社会福祉協議会

参加者：①14人 ②17人

《一次選考（書類審査）》

対象者：16人（藤枝市4人、島田市7人、焼津市4人、川根本町1人）

《二次選考（面接審査）》

実施日：令和5年7月3日

会場：島田市民総合施設プラザおおるり

対象者：14人（藤枝市4人、島田市7人、焼津市2人、川根本町1人）

合格者：11人

《市民後見人養成講座（全 11 回）》

実施日：【基礎講座】①7月 29 日 ②8月 2 日 ③8月 16 日 ④8月 26 日

【実務講座】①9月 27 日 ②10月 7 日 ③10月 11 日 ④10月 21 日

⑤⑥9～10月（施設体験実習 2 回）⑦10月 25 日

会 場：島田市総合施設プラザおおるり 他

受講者：9人（藤枝市 4 人、島田市 2 人、焼津市 2 人、川根本町 1 人）

《職員による中間面談（各市町で実施）》

実施日：令和 5 年 9 月 6 日

参加者：4 人（藤枝市）

《終了時選考》

実施日：令和 5 年 12 月 11 日

会 場：島田市総合施設プラザおおるり

対象者：9人（藤枝市 4 人、島田市 2 人、焼津市 2 人、川根本町 1 人）

合格者：8 人（藤枝市 4 人、島田市 1 人、焼津市 2 人、川根本町 1 人）→選考後焼津市 1 人辞退

《実務研修に関する説明会》

実施日：令和 6 年 1 月 12 日

会 場：福祉センターきすみれ

参加者：4 人

イ. 第 6 期市民後見人養成講座

《最終面接》

実施日：令和 6 年 2 月 13 日

会 場：島田市民総合施設プラザおおるり

参加者：7 人（藤枝市 3 人、島田市 1 人、焼津市 3 人）

合格者：7 人（藤枝市 3 人、島田市 1 人、焼津市 3 人）

【市民後見人養成状況：藤枝市】

	1 期生 (H29)	2 期生 (H30)	3 期生 (R1)	4 期生 (R2)	5 期生 (R3)	6 期生 (R4)	7 期生 (R5)	計
養成講座受講者数	8	3	3	2	2	4	4	26
途中離脱・不可	1	2	1	0	1	1	実務 研修中	6
登録者数	7	1	2	2	1	3	実務 研修中	16
登録削除数	6	0	0	0	0	0	0	6
現在登録者数	1	1	2	2	1	3	実務 研修中	10

ウ. 3市1町成年後見推進委員会部会（市委託事業）

藤枝市・島田市・焼津市・川根本町の3市1町が実施する成年後見事業に対する相談の場として、また、法人後見受任に対する審議を行うため実施しました。

会場	実施日
島田市社会福祉協議会	6月12日、8月7日、9月11日、11月13日、令和6年1月15日

エ. 3市1町成年後見推進委員会（市委託事業）

藤枝市・島田市・焼津市・川根本町との3市1町で市民後見人養成講座等の成年後見事業を実施するために、広域連携のあり方や養成講座の内容について検討しました。

オ. 市民後見人の受任状況

(1) の②により登録された市民後見人の中で、下記の2人が受任し活動しています。

	類型	養成時期	審判	概要
1	後見	第2期	R5.3.23	司法書士との複数後見を同時選任（知的障害者）
2	後見	第4期	R5.9.27	社会福祉士から追加選任による複数後見（認知症高齢者）

③法人後見事業

支援する人がいない場合や、虐待案件など個人での受任が困難な場合に、法人として後見活動ができる法人後見があります。本会では、下記の5人を受任し活動しています。（件）

	成年後見	保佐	補助	計
受任中	1 (高齢者1人)	4 (知的障害者3人、高齢者1人)	0	5
終了	1 (高齢者1人)	2 (高齢者2人)	1 (高齢者1人)	4

※令和5年度新規受任：保佐1（高齢者1人）

④3市1町成年後見推進委員会（市委託事業）

藤枝市・島田市・焼津市・川根本町の3市1町で市民後見人養成講座等の成年後見事業を実施するために、広域連携のあり方や養成講座の内容について検討しました。

会場	実施日
島田市民総合施設プラザおおるり	5月22日、10月16日、令和6年3月11日

⑤権利擁護検討会議の開催

司法等専門職の協力を得て、権利擁護支援が必要な方の支援方針や申立人、後見人等候補者の選定、チーム体制や支援体制を検討しました。

会場	実施日
藤枝市役所、 福祉センター きすみれ、他	4月13日、4月20日、5月18日、5月25日、6月15日、6月22日、7月 13日、8月24日、9月7日、9月14日、9月21日、10月5日、10月18 日、10月25日、11月16日、11月22日、12月14日、12月21日、令和6 年1月18日、1月26日、2月15日、2月22日、3月14日、3月21日

検討事例数 累計 30件（高齢14件、障害16件）

内受任調整 15件（高齢7件、障害8件）

⑥専門機関との情報交換会

困難・複雑な生活課題の解決のため、専門機関との情報交換会を開催し、各専門機関同士、情報交換や知識の共有・人的ネットワークの構築を図りました。

実施日：①令和5年6月1日 ②令和5年8月3日 ③令和5年10月3日

④令和5年12月6日 ⑤令和6年2月7日

内 容：事例検討、情報交換 他

⑦住民向け権利擁護啓発事業（市委託事業）

権利擁護に対する理解を深め、成年後見制度など必要な制度の活用に繋げていくため、住民向けの講演会と映画上映会を同日に行いました。

実施日：令和5年10月24日

会 場：藤枝市生涯学習センター

内 容：①講話「成年後見制度について」

②映画「オレンジ・ランプ」

講 師：①公益社団法人 成年後見センター リーガルサポート静岡支部

司法書士 青島 英一郎 氏

参加者：98人

⑧成年後見制度入門講座（市委託事業）

権利擁護に対する理解を深め、成年後見制度など必要な制度の活用に繋げていくため、成年後見制度入門講座を開催しました。

実施日：令和6年2月9日

会 場：福祉センター きすみれ

内 容：「成年後見制度の基礎」

講 師：ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏

参加者：25人

⑨日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

認知症高齢者、知的障害や精神障害等の中で判断能力が不十分な人が地域で安心して生活が送れるよう、契約により福祉サービスの利用手続きや公共料金の支払手続き、日常的金銭管理等の支援を実施しました。

《利用者の状況》 *利用料：1,000円／回 ※生活保護世帯は自己負担なし (金庫代300円)

内容	対象者(人)				計	前年度
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他		
利用者数	0	8	20	5	33人	31人
(うち貸金庫利用者)	0	2	5	1	8人	8人
内、新規契約者	0	1	1	1	3人	7人
解約者	0	0	1	0	1人	3人
実働生活支援員					12人	14人

《相談援助件数》

内容 対象者	本事業の利用に関するもの				その他	計	前年度
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他			
初回相談件数	0	4	6	7		17 件	23 件
相談援助件数	0	300	1, 357	400		2, 057 件	2, 144 件
計	0	304	1, 363	407	0	2, 074 件	2, 167 件

(2) 声の広報・点字の広報【再掲】

◆◆◆成果◆◆◆

成年後見支援センターとして、市民や各機関からの相談に応じ、必要に応じて申立支援や権利擁護検討会に繋げることができました。また、住民向け権利擁護啓発事業、成年後見制度入門講座などを通して、制度の広報・啓発などを行い、多くの方に参加していただくことができました。

◆◆◆課題◆◆◆

各種団体、関係機関が、一次相談として対応し、専門的判断が必要な場合は、成年後見支援センターの二次相談につなぐような体制づくりをするために、関係機関への制度の理解を広げていくことが課題となっています。

また、市民後見人養成講座修了者が増加していますが、市民後見人として活動している人数は少なく、さらなる増員が課題です。

基本目標3 福祉サービスの充実と利用しやすい環境づくり

複合化・複雑化した課題や現状の支援体制では見逃されてしまう課題に対応するために、高齢、障害、子育て、生活困窮等、これまで強化してきた各機関の機能を最大限に活かしながら、あらゆる相談を受け止め、課題解決に向けた支援を関係機関が協働して行う、包括的支援体制の構築に努めました。

また、市民ニーズに沿ったきめ細かな福祉サービスを充実させるとともに、必要な人に必要なサービスが提供されるよう情報発信体制を強化に努めました。

1 包括的な支援を行う体制づくり

(1) 相談窓口の充実

① 福祉総合相談（ふくし相談）

住民の抱えるさまざまな問題等に広く対応するため、適切なサービスや機関、制度等の情報提供や各種資金の貸付相談を実施しました。また、体制の充実を図るため、市に設置された自立生活サポートセンター内に社協サテライトを併設し、相談員を配置しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
社協受付分	2	4	3	7	1	7	5	2	2	9	3	2	47 件	
サテライト 受付分	103	149	121	117	144	156	136	103	173	113	121	152	1,588 件	
総件数	105	153	124	124	145	163	141	105	175	122	124	154	1,635 件	1,798 件

② 家計相談事業（市委託事業）

生活全般に関する困りごとに対応するため、市から生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業における相談支援員業務を受託し、市役所内に設置された「藤枝市自立生活サポートセンター」において広く相談に対応するとともに、家計に関するプランを作成し、家計の再建を支援しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
新規相談件数	8	16	11	8	8	16	12	9	9	17	4	12	130 件	168 件
プラン作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件	0 件

③ 地域包括支援センター（安心すこやかセンター）事業（市委託事業）

（担当地区：青島地区の一部）

いつまでも地域内で安心して暮らせるよう、瀬戸新屋の在宅福祉センター内に安心すこやかセンターを設置し、地域における高齢者の総合的な相談窓口として、地域で生活する高齢者を、介護、福祉、医療などの面から総合的に支援しました。また、地域の介護支援専門員への指導・助言のほか、さまざまな関係機関との連絡調整（ネットワークづくり）に努めました。

ア. 総合相談事業

介護に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療、生活に関することなど高齢者における総合的な相談に対応し、適切なサービスや機関、制度の利用につなげました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
相談件数	73	84	114	80	95	95	114	86	78	94	77	86	1,076 件	808 件
実態把握件数	0	1	3	3	2	2	0	1	2	2	0	1	17 件	20 件

イ. 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防のため、介護保険要支援1・2、事業対象者と判定された利用者を対象に、委託居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、利用者の主体性を重んじた介護予防サービス計画を作成できるよう支援に努めました。また、介護保険の請求事務として給付管理業務も行いました。地域支援事業として、アクティブシニア大学の希望者に申請の手続きや相談対応も行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
委託請求件数	170	168	174	176	182	189	187	187	186	186	179	181	2,165 件	2,160 件

ウ. その他の委託事業

よりよい地域の連携体制をつくるため、「地域包括支援ネットワーク構築会議」を開催するとともに、介護状態にならないための「介護予防普及啓発事業」を実施しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
地域ネットワーク会議	0	0	2	1	0	1	1	1	2	0	1	0	9回	10回
介護予防普及啓発事業	0	3	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	7回	10回
介護予防把握訪問	0	0	0	0	0	7	1	4	5	0	0	0	17回	37回

④障害者相談支援事業（市委託事業）

障害者の福祉の増進を図るため、藤枝市基幹相談支援センター内で、障害福祉課、他法人の相談員とともに障害者やその家族の相談に応じ、必要な情報提供を行いました。併せて障害者の地域定着を推進するため、関係機関との調整や権利擁護のために必要な支援を行いました。

相談対象者の障害種別(実人数)					相談件数	前年度
身体障害児者	知的障害児者	精神障害児者	その他	計		
28人	139人	226人	21人	444人	1,580件	2,232件

(内30人は重複)

(2)生活支援コーディネーターによる地域づくりの推進

①生活支援体制整備事業（市委託事業）

ア. 生活支援体制整備事業第2層協議体

住民がいつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、市内日常生活圏域（地区社協）ごとに生活支援コーディネーターを配置し、支え合いの地域づくり会議や新しい事業の実施に向けた調整や打合せ、住民主体の生活支援サービス事業の実施などについて助言や情報提供等の支援を行いました。また、住民の声に素早く対応するため、随時相談対応を行いました。

《第2層協議体 支え合いの地域づくり会議実施状況》

地区社協	開催日
瀬戸谷	5月31日、10月12日、11月2日、令和6年3月19日、3月27日、
稲葉	4月22日、5月17日、10月26日、令和6年2月14日
葉梨	4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、8月17日、9月7日、10月12日、11月14日、令和6年2月8日
藤枝	8月17日、10月26日
青島	令和6年2月17日
高洲	6月8日、7月21日、8月18日、10月19日、令和6年1月12日
大洲	令和6年3月26日

《生活支援サービス実施地区》

() 内は前年度

実施地区	団体数	対象地域と団体名
広幡	1 (1)	広幡全域（広幡お助け隊）
藤枝	2 (0)	藤枝第1自治会（まめつ隊）、藤枝第10自治会（とんからり）
青島	3 (3)	田沼南町内会（田沼支え愛の会）、青島第5自治会（駿河台支えあいの会ぼちぼち）、青島第8自治会（青島第8助けあいの会はちすけ）
高洲	1 (1)	高洲全域（高洲手んだい隊）
大洲	1 (1)	大洲全域（大洲自立支援部）

※生活サポートサービスキー坊大縁隊の対象地域は藤枝市全域

イ. 生活支援体制整備事業第1層協議体への参加

市全体の課題を共有し、課題解決につなげていくため、藤枝市主催の第1層協議体に、第2層生活支援コーディネーターとして参加し、各地区の地域課題や地域福祉活動に関する情報提供を行っています。

開催日：令和5年5月23日、10月27日、令和6年3月19日

ウ. 先進事例の研究

地域課題の解決に向けて実施可能な手法を検討するため、市と合同で地域主体の移動支援サービスを実施している岐阜県各務原市、生活支援サービスに関する先進的な取組を実施している愛知県豊明市へ視察を行いました。

実施日：令和5年6月6日、7日

視察先：岐阜県各務原市（タクシー相乗りによる移動支援）

愛知県豊明市（住民主体生活サポート事業）

参加者：市地域交通課、市地域包括ケア推進課、市社協

エ. 生活支援サービス事業連絡会

地域主体で運営している生活支援サービス事業の活動者に対し、運営上の悩みや活動に関する悩み、課題の共有や課題の解決のための手法等、事業を円滑に進めていくための情報交換の場とするほか、新たに立ち上げを検討している団体に対し、活動立ち上げの後押しとなるよう実施しました。

実施日：令和6年1月26日

会場：藤枝地区交流センター

内容：各団体の活動紹介・課題共有、質疑応答、「自分たちの活動の認知度UP～新たつながり先を考えよう」（グループワーク）

参加者：12団体39人

（3）ボランティアセンター事業【後掲】

（4）成年後見支援センター事業【再掲】

◆◆◆成果◆◆◆

「生活支援コーディネーターによる地域づくりの推進」については、高齢者の新たなふれあいの場の立ち上げに向けた取り組みが見られた瀬戸谷地区・稲葉地区・高洲地区・藤枝地区に対し、他機関と連携し積極的に情報提供を行ったほか、協議が行われるよう働きかけしたことにより、住民同士が意見交換する機会を設けることができました。その中で、稲葉地区の宮原町内会においては安心すこやかセンターグリーンヒルズ藤枝と共に試しサロンを3回実施した結果、参加者からサロンが必要であるとの意見が多くあがり、サロン立上げに向けたきっかけを作ることにつながりました。

◆◆◆課題◆◆◆

通いの場を求めている人はいるが、担い手が不足していたり、お手伝いならできても、運営の軸になる人がいないため、立ち上げに結びつかなかったり、既存の団体でもボランティアの高齢化によりサロンの運営自体が難しくなっています。市社協から地区のボランティア募集の情報発信、ボランティアの負担を軽減できるような運営方法の検討をし、担い手の確保が課題です。

2 きめ細かな福祉サービスの提供と利用しやすい環境づくり

(1) 多様なサービスの提供

高齢者や障害者の皆さんのが、在宅で安心していきいきと暮らしていくために、介護保険法や障害者総合支援法等に基づいて在宅福祉サービスの充実を図りました。また、利用者の立場に立った介護・医療のサービスの提供と、経営の安定化の両立を目指しました。

① 介護保険事業

ア. 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、利用者と各サービス事業所との連絡調整を図って、利用者の主体性を重んじた居宅サービス計画の作成に努めました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
計画作成件数	99	95	96	112	111	106	115	118	117	123	119	116	1,327 件	1,303 件
計画作成外部受託件数	52	50	49	48	49	49	47	48	52	49	47	47	587 件	167 件

イ. 訪問介護事業

身体介護では入浴や清拭を、生活援助では掃除・調理・買い物代行等のサービスを提供しています。サービス提供時の記録や連絡事項等ではタブレット及びタブレット用介護ソフトの導入により事務の効率化、ヘルパーの働き方改革を進めました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	26	27	27	28	30	29	27	26	28	29	27	24	328 人	339 人
訪問回数	250	264	257	259	300	276	313	315	282	284	282	230	3,312 件	3,509 件
提供時間	254	258	257	274	309	261	267	267	242	271	260	201	3,121 時間	3,267 時間

ウ. 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業訪問介護）

要支援1・要支援2に認定された方を対象に 本人が自分で行うことが困難な入浴、排せつ、食事等の介護や 調理、洗濯、掃除等の家事を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	10	126 人	142 人
訪問回数	44	54	47	45	51	47	58	56	57	52	54	45	610 件	753 件
提供時間	39	48	42	40	46	42	52	50	51	47	48	51	556 時間	680 時間

エ. 訪問看護ステーション事業

利用者数等の拡大を進めるとともに、医療保険、介護保険いずれの場合でも、主治医が作成する訪問看護指示書に基づき利用者の日々の健康管理からターミナルケアまで幅広く 利用者本人と家族の希望と状況に応じて医療的視点と、利用者、家族に寄り添った視点で訪問看護を提供しました。

《介護保険》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	32	32	35	30	34	37	36	36	35	33	32	33	405人	393人
訪問回数	94	99	101	97	118	130	130	120	124	119	114	116	1,362件	1,415件
提供時間	62	65	67	68	81	112	94	85	87	87	81	83	972時間	985時間

《医療保険》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	20	20	21	21	26	22	21	21	21	21	21	21	256人	227人
訪問回数	119	121	141	119	166	150	133	129	141	111	134	105	1,569件	1,387件
提供時間	104	124	148	104	140	130	120	118	129	96	120	87	1,420時間	1,310時間

《難病患者介護家族リフレッシュ事業》

	今年度	前年度
利用者数	3	1
利用回数	4	1
提供時間	8	2

《県立学校医療的ケア児就学支援事業》

月	1	2	3	計
時間	1.5	1.5	1.5	4.5時間

《医療連携業務委託事業》認知症グループホームへの訪問

	今年度	前年度
契約事業所数	3(1ユニット9人×4)	3(1ユニット9人×4)
定期利用回数	187	120
緊急利用回数	0(1人個別契約)	0

才. 介護保険対象外生活支援サービス事業

社協の介護保険サービス利用者を対象に、ごみ出しや通院介助などの介護保険制度対象外のサービスを提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	1	1	3	4	1	3	3	3	4	3	4	3	33人	21人
訪問回数	1	1	9	7	7	3	3	4	7	4	12	7	65件	23件
提供時間	2	2	6.5	9.5	3.5	5.5	5.5	6.5	16.5	9.5	23	14	104時間	36.5時間

②障害福祉サービス事業

支給決定を受けた障害者（児）に対し、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようサービス等利用計画に基づいて、サービスを提供しました。

ア. 居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	43	41	43	42	39	41	38	39	41	39	40	40	486人	526人
訪問回数	470	530	506	402	483	443	431	413	425	410	406	415	5,334件	6,335件
提供時間	355	410	390	334	349	320	310	297	307	296	306	307	3,981時間	5,006時間

イ. 重度訪問介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	29人	26人	
訪問回数	111	110	107	115	110	134	152	148	128	76	92	67	1,350件	1,341件
提供時間	304	311	301	316	308	366	416	403	407	280	294	223	3,929時間	3,828時間

ウ. 同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	13	11	13	12	12	12	12	12	13	11	13	14	148人	131人
訪問回数	54	49	58	47	52	49	52	54	55	47	52	56	625件	621件
提供時間	137	118	142	119	129	126	129	138	139	120	142	147	1,586時間	1,486時間

エ. 相談支援事業

i) 計画相談支援（特定相談支援事業所）

相談支援専門員が、利用者と各サービス事業所との連絡調整を図って、利用者の主体性を重んじた計画案、計画の作成、利用状況の検証および計画の見直し（モニタリング）を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
件数	97	85	84	93	95	84	84	101	91	105	100	89	1,108件	1,102件

ii) 地域移行

入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を要する者に対し、入所施設や精神科病院等における地域移行の取組と連携しつつ、地域移行に向けた支援を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
件数	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	10件	19件

iii) 障害児支援利用計画（障害児相談支援事業所）

相談支援専門員が障害児の保護者と各サービス事業所との連絡調整を図って、障害児の状況や保護者の意向を勘案し、計画案、計画、利用状況の検証および計画の見直し（モニタリング）を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
件数	47	58	65	52	38	46	34	43	49	43	37	57	569 件	550 件

③地域生活支援事業

ア. 移動支援事業 ※市委託事業

屋外での移動に困難がある障害者（児）に対し地域での自立生活及び社会参加を促すため、移動支援サービスを提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	11	10	9	8	8	9	8	8	13	13	15	20	132 人	87 人
訪問回数	27	33	31	29	24	32	33	29	32	38	38	53	399 件	313 件
提供時間	31	37	40	30	27	28	29	35	45.5	39	45.5	61.5	448.5 時間	283 時間

④ライフサポート事業（自宅等での支援）（市委託事業）

障害者総合支援法を補完する事業として、障害児の地域生活を支え、家族の介護負担軽減のため、自宅での介護を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5 人	5 人
訪問回数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5 件	7 件
提供時間	4	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0.5	9.5 時間	7 時間

⑤放課後等デイサービス「社協ルピナス」の運営

就学している障害児に対して、放課後や夏休み等の学校休業日において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供しました。また、療育活動として、作業療法、絵手紙、音楽、体操や絵付け教室などを取り入れ障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進し放課後等デイサービスの運営を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	20	20	22	20	22	20	21	20	19	19	19	20	242 日	242 日
内1日開所日数	6	1	1	6	20	0	2	1	7	3	1	15	63 日	63 日
利用者数	206	200	205	192	219	163	196	182	177	185	180	211	2,316 人	2,593 人
1日平均	10.3	10.0	9.3	9.6	9.9	8.1	9.3	9.1	9.3	9.7	9.4	10.5	9.5 人	10.7 人

⑥生活介護事業所「ポップライフ」の運営

重症心身障害者に障害福祉サービスを提供する通所施設として、入浴・食事・送迎の提供さらに機能訓練や創作・音楽活動等個々にあったサービスの提供を行いました。また、地域生活支援事業（日中一時支援）として本施設での時間外預かりにより日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練を行いました。

ア. 障害福祉サービス

常に介護や医療ケアの必要な人に施設で入浴や排泄、食事の介護や療育活動（創作、外出）等を提供しています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	22	22	24	22	23	22	23	22	23	21	21	22	267 日	268 日
利用者数	454	479	504	474	484	476	438	422	435	389	375	441	5,371 人	5,757 人
1日平均	20.6	21.8	21.0	21.5	21.0	21.6	19.0	19.1	18.9	18.5	17.8	20.0	20.1 人	21.5 人

イ. 地域生活支援事業（藤枝市・焼津市・吉田町委託事業）

障害者を一時的に時間外で預かり、見守り等を行い、安心できる場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	3	3	5	2	3	4	8	9	7	3	1	4	52 口	62 日
利用者数	2	2	7	2	4	3	3	5	4	3	1	5	41 人	44 人

ウ. ライフサポート事業（短期入所）（藤枝市委託事業）※1回：1泊2日で実施

障害者総合支援法の短期入所指定事業所以外の施設でのナイトケアの提供をしました。なお、上半期は実施していないため、利用者はいませんでした。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所回数	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	5 回	6 回
利用者数	-	-	-	-	-	-	3	4	5	4	3	-	19 人	21 人

（2）福祉サービスの利用支援

- 日常生活自立支援事業【再掲】

（3）支援体制の周知

- 広報・啓発事業【再掲】

（4）生活困窮者の自立支援

①各種資金貸付事業

低所得世帯や障害者世帯等の経済的自立と生活意欲の助長促進のため、緊急かつ一時的費用として生活費、教育費、医療費等の資金貸付を行いました。

種 別	申請件数(件) (前年度)	貸付金額(円) (前年度)
小口資金貸付 (生活費など 貸付限度額 10万円 無利子)	0 (0)	0 (0)
高額療養費貸付 (無利子)	38 (23)	8,296,377 (4,877,706)
生活福祉資金 (静岡県社協資金取次)	8 (6)	3,388,000 (600,000)

②ふじえだ暮らしをつなぐ支援事業

生活困窮者等が地域で自立した生活を送ることができるよう、多機関と連携しながら暮らしの環境を整えるための支援を行いました。

	今年度		前年度	
件数	1		1	
金額	36,000円		22,000円	
内訳	医療費支援	20,000円	就労準備支援	22,000円
	就労準備支援	16,000円		

③自転車及びカセットコンロ支援事業

生活困窮者の自立と生活の質の向上や就労につなぐため、自転車の助成を行いました。

助成実績：自転車1台（前年度 自転車2台）

④年越し支援金

9月5日号の「ふじえだ社協だより」No.231で助成金申請手続きの周知を行うとともに、各地区民生委員・児童委員の協力を得て、歳末たすけあい募金から、生活が困窮していて支援を必要としている世帯に対して、支援金を助成しました。また、収入が減少した等の理由により「非課税世帯である」という条件に当てはまらない生活困窮者の支援につなげるため、区分Bの申請枠を設けました。

	【区分A】			【区分B】		
	対象世帯	新入学祝い	助成合計額	対象世帯	新入学祝い	助成合計額
計	540世帯／701人	3人	4,117,000円	46世帯／104人	1人	443,000円
前年度	530世帯／718人	8人	4,126,000円	43世帯／97人	2人	419,000円

⑤フードドライブ事業への協力

食品を必要とする人々の支援とフードロス削減のため、N P O 法人フードバンクふじのくにが実施するフードドライブに協力し、家庭に眠っている食品の回収を行いました。

なお、回収された食品は、N P O 法人フードバンクふじのくにの協力を得て生活に困窮し食の確保が困難な世帯の支援に使用されました。

<夏期> 実 施 期 間：令和5年8月1日～31日

回収ボックス設置：17カ所（各地区交流センター、文化センター、学習センター
福祉センターきすみれ、在宅福祉センター、市役所）

回 収 量：592.8kg（前年度上半期 580.07 kg）

<冬期> 実 施 期 間：令和5年12月1日～令和6年1月31日

回収ボックス設置：17カ所（各地区交流センター、文化センター、学習センター
福祉センターきすみれ、在宅福祉センター、市役所）

回 収 量：504.4kg（前年度 600.7 kg）

<常設> 実 施 期 間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

回収ボックス設置：1カ所（福祉センターきすみれ内）

回 収 量：94.95kg（前年度 344.00kg 3カ所分）

*緊急食料支援 148件（前年度 141件）※市自立生活サポートセンターにて対応

◇◆◇成果◇◆◇

相談支援事業における一般相談、特定相談、障害児相談では、新規利用者の獲得に努め、スムーズにサービス利用に繋げることができました。

ルピナスでは、コロナ感染症が5類となり、療育活動、ボランティアの受入、外出支援が通常通りになり活動の幅が広がりました。

訪問介護では、移動支援と重度訪問介護に力を入れ、時間数の増加を図りました。

ポップライフでは、コロナが5類になり、外出や音楽療法を再開することができました。また、ポップライフ祭りやクリスマス会の行事への家族や地元の町内会長を招待し、地域に開かれた施設であることをPRするとともに、親子で社会参加を楽しむ場を提供につなげました。

◇◆◇課題◇◆◇

相談支援事業では、様々なケースの中から見えてくる地域課題解決のための社会資源開発について、法人内での共有を重ねていき、またサービス調整だけでなく生活上の困りごとに対応する基本相談の重要性を意識して力を入れていくことが課題となっています。

ルピナスでは、小学校低学年と強度行動障害の利用者の支援は職員間で共有し、丁寧に関わり同じ方向性をもち支援していくことが課題となっています。

訪問介護では、利用者の減少により訪問回数や提供時間が減ってしまったため、利用の拡大が課題となっています。

ポップライフでは、最重度の医療的ケアの利用者の受け入れ態勢の整備と近隣市町に新しい生活介護事業所が開設したこともあり、新規利用者の確保が課題となっています。

3 地域生活・社会へ参加しやすいまちづくり

(1) 外出が困難な人の社会参加の支援

①地域支え合い出かけっ CAR サービス支援事業（市委託事業）

地域内の移動が困難な人の移動を支援するため、地区社協が実施する運転ボランティアによる外出支援サービス「藤枝市地域支え合い出かけっ CAR サービス事業」に関して、使用される車両の確保や自動車保険加入などの支援を行いました。

《瀬戸谷地区社協：瀬戸谷買援隊》

買い物支援 ※12月より一部福祉有償運送として活動

《葉梨地区社協：葉梨ささえ愛隊》

買い物支援、通院支援、会食会会員の送迎支援

《西益津地区社協：お出かけ支援隊》

買い物支援、通院時の送迎支援 ※通院支援は6月より福祉有償運送として活動

《藤枝地区社協：藤枝ふれあい出かけっ CAR》

買い物支援、6月より事業開始

《高洲地区社協：高洲足すとし隊》

買い物支援

《大洲地区社協：ノアの運ぶネ》

買い物支援、ふれあいサロンの送迎支援

②福祉車両貸出事業

下肢に障害があり歩行が困難な人の社会参加促進を図るため、社協が所有する福祉車両を貸出しました。また、運転する人がいない場合には、社協に登録する運転ボランティアの派遣調整を行いました。※車両台数：3台（走行距離に応じ燃料は各自負担）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
貸出件数	13	19	16	10	16	14	18	17	18	17	16	11	185 件	166 件
内) 運転ボランティア調整	1	4	3	5	5	4	4	3	8	3	6	4	50 件	49 件

③車イス貸出事業

急な病気やケガなどにより買い物などの外出に一時的に車いすを必要とする市内在住の方に、原則3ヶ月を限度として貸出を行いました。また、福祉体験学習を行う学校等への貸出も行いました。

() 内は前年度

保有台数	令和5年度貸出件数
42台(56台)	151件(138件)

◆◆◆成果◆◆◆

出かけっ CAR 実施地区で運営委員会やボランティア会議実施の提案を行い現状や課題の確認を行うことができました。瀬戸谷地区と西益津地区では、幅広いニーズに対応したり、活動を安定して継続できるために、福祉有償運送により実施が行われ始め、その際の支援を行うことができました。

◆◆◆課題◆◆◆

市社協として、出かけっ CAR の認知度やボランティア会員の増加に関する周知の拡大が課題となっています。

基本目標 4 地域の社会資源を育む仕組みづくり

地域福祉を担う人材やボランティア等の組織の育成や支援、新たな担い手を育むための施策を展開しました。また、地域づくりに多様な主体が参画しやすい環境を整備するとともに、地域における多様な主体が連携し、活躍できる体制の充実に努めました。更に、近隣市町や県等と広域的な連携を推進しました。

1 地域福祉を担う人材・組織を育む体制づくり

(1) ボランティア活動の推進

①ボランティア講座

さまざまな地域活動に参加する人材を発掘・育成するため、ボランティアに興味・関心のある住民を対象にボランティア講座を行いました。

実施日：令和 5 年 7 月 4 日

会 場：高洲地区交流センター

内 容：ボランティアの変遷や活動意義、魅力、活動のヒントを学ぶ

講 師：元 十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 横山 貴美子氏

参加者：38 人

②話し相手ボランティアスキルアップ講座

平成 19 年度からの「話し相手ボランティア養成講座」を修了した人へ復習の機会を設けるとともに、実際にボランティア活動を行っている人の悩みや疑問の解消、まだ活動に至っていない人へは、さらにそれらの学習を深めることを目的とし開催しました。

実施日：令和 5 年 11 月 14 日

会 場：高洲地区交流センター

内 容：話し相手ボランティアについて必要な知識を再確認、活動の中で生じた疑問、困りごとへの質疑応答

講 師：元 十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 横山 貴美子 氏

参加者：18 人

③ボランティア相談

ボランティア活動を促進するため、「藤枝市ボランティアセンター」では、ボランティアや企業、個人の社会貢献活動の拠点として、ボランティアに関する相談や各種助成金等の情報提供及び社会貢献活動の促進等を行いました。

() 内は前年度

ボランティア相談合計	内訳
132 件 (50 件)	ボランティア依頼 24 件(15 件) ボランティア希望 18 件(17 件) その他問合せ 90 件(18 件)

④65 歳以上の人へのボランティア活動促進

市介護福祉課が月 1 回開催している「65 歳到達者説明会」にて、「ボランティアしませんか！週 1 日は地域貢献デイ」のチラシを配付し、ボランティア活動促進を行いました。

配付枚数：1,810 枚

⑤子育て応援プログラム

子育て中の保護者やその家族を対象に参加者同士の話し合いや、演習を通して愛着形成・自己肯定感の大切さや、よりよいコミュニケーションの方法などを学ぶための講座を行いました。

実施日：①令和 5 年 9 月 21 日、②9 月 28 日、③10 月 5 日

会 場：福祉センターきすみれ

内 容：①愛着形成・自己肯定感の大切さや、よりよいコミュニケーションの方法などを学ぶ
②子育てサロン、子育て支援センターの紹介
③子育て世代の防災について考える

講 師：①合同会社 麻彩 大隅 和子氏

②常葉大学短期大学部日本語日本文学科准教授 宮本 淳子氏

③認定 NPO 法人はままつ子育てネットワークびっぴ 理事長 原田 博子氏

参加者：延べ 23 人

(3) 福祉を担う人材の育成

①各種資格の現場実習受入

将来の福祉を担う人材を育成するため、地域に根ざした社会福祉法人として、資格習得に必要な現場実習の受け入れを行いました。

*社会福祉士…令和 5 年 8 月 28 日～9 月 29 日(25 日間)／ 静岡県立短期大学 1 人

令和 6 年 2 月 26 日～3 月 4 日(6 日間)／ 静岡県立短期大学 1 人

*看護師…令和 5 年 6 月 9 日・6 月 12 日(2 日間)／ 組合立静岡県中部看護専門学校 2 人

令和 5 年 9 月 19 日・9 月 20 日(2 日間)／ 同 上 3 人

令和 5 年 9 月 27 日・9 月 28 日(2 日間)／ 同 上 2 人

令和 5 年 9 月 29 日・10 月 2 日(2 日間)／ 同 上 2 人

令和 5 年 10 月 4 日・10 月 5 日(2 日間)／ 同 上 2 人

令和 5 年 10 月 6 日・10 月 10 日(2 日間)／ 同 上 2 人

令和 6 年 3 月 4 日～3 月 6 日(3 日間)／ 同 上 1 人

②市民後見人育成事業【再掲】

(4) 福祉活動に積極的に取り組む個人や団体の表彰

①健康福祉大会の開催【再掲】

②市社協表彰

③感謝状の贈呈

多年にわたり健康福祉の増進に尽力された人への表彰を
藤枝市健康福祉大会にて行いました。

社協会長表彰 23 人

社協感謝状 2 人、3 団体

◆◆◆成果◆◆◆

実習の受け入れについては、社会福祉法人の使命を果たすだけでなく、職員が担当業務を学生に説明することで、その事業の意義を再認識したり、地域に対して物事をわかりやすく説明することの訓練になったりしています。実践現場で学生と利用者やボランティアとのやり取りを客観的に見ることで、今一度その事業の進め方等を見直すことにもつながりました。

◆◆◆課題◆◆◆

社会福祉士取得のための実習においては、実習カリキュラムの変更に伴い、ソーシャルワークの実践能力の習得ができる実習内容がより強く求められるようになったため、より効果的な実習機会を提供できるよう、職員の共通理解とプログラムの見直しを行うことが課題となっています。

2 多様な主体が活躍する環境づくり

(1) ボランティア人材の育成

①ボランティア登録

藤枝市市民活動団体支援室とボランティア募集の情報共有を行うほか、登録者への情報提供を行いました。

《ボランティア登録数》

() 内は前年度

団体活動者	個人活動者	計
176 団体 (178 団体)	4,273 人 (4,383 人)	165 人 (253 人)

②ボランティア活動保険加入促進

安心してボランティア活動ができるようにボランティア活動中の不慮の事故に備え、ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険の加入を促進しました。

《ボランティア活動保険》

() 内は前年度

加入者数	内、個人負担	内、社協負担
3,041人 (3,283人)	1,243人 (1,327人)	1,798人 (1,956人)

《ボランティア行事用保険》

() 内は前年度

加入件数	加入者数
37件 (36件)	3,608人 (2,706人)

③ふじえだ生き生き助成金事業

地域福祉活動を促進するため、地域福祉の推進に資する事業を行うボランティア団体や自治会・町内会、障害当事者団体等の団体に対し、共同募金助成金により助成しました。

ヒアリング：令和5年6月24日

申請団体：16団体

決定団体：16団体

決定額：647,000円

(2) ボランティア団体の連携・交流

①ボランティア交流会

ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティア団体や個人ボランティア、ボランティアに興味関心のある人同士の横の繋がりづくり・情報交換の機会として交流会を実施しました。

実施日：令和5年12月2日

会場：青島北地区交流センター

内容：琴と尺八のミニコンサート（すみれの会）

活動紹介（青島第8自治会助けあいの会はちすけ）

バルーンアートのミニ講座（バルーンアートM）

グループワーク（みんなでボランティアするなら何ができる？）

参加者：56人

②ボランティア連絡協議会への支援

ボランティア団体の横の繋がりを強化するため、情報共有と連携強化を図ることを目的に、定期例会および総会に出席しました。

出席回数：10回

③ボランティア団体支援

ア. 話し相手ボランティアサークル「えがお」への支援

活動の支援や情報提供・情報共有のため、定期例会に出席しました。

また、利用希望者とのマッチングや初回の顔合わせに同席するなど、活動開始をスムーズに行えるようサポートをしました。

出席回数：12回

イ. 高校生ボランティアサークル「ほおづき」への支援

若年層のボランティア活動を促進するため、高校生ボランティアサークル「ほおづき」の定例会及び事業に出席し助言・調整等を行いました。また、事業を実施するにあたり、先方との連絡調整、当日のスケジュールの確認、園児への配慮等、適宜支援を行いました。

定例会出席回数：12回、（うち、交流会事前打合せ出席回数：1回）

＜夏の交流イベント＞

実施日：令和5年8月18日

会場：わかばみや保育園

内容：鬼ごっこ、輪投げ、宝探し、じゃんけん 等

参加者：ほおづき6人（内、OB1人）、園児34人

③福祉団体助成金

地域社会における福祉活動を促進するため、地域の福祉活動に取り組んでいる団体に対し、福祉団体助成金を交付しました。

助成額 1,082,000円 / 4団体

助成団体 ①藤枝市自治会連合会	②藤枝市民生委員・児童委員協議会
③さわやかクラブふじえだ連合会	④公益財団法人 静岡県アイバンク

（3）地区社協への支援【再掲】

（4）生活支援コーディネーターによる地域づくりの推進【再掲】

◇◆◇成果◇◆◇

ボランティア各講座や交流会等の開催により、ボランティア団体の活動の紹介や活動への理解を深めてもらうことができました。コロナ禍で受入れを中止していた事業所での活動が一部で再開されたことにより多くの団体と事業とをつなぐことができました。

◇◆◇課題◇◆◇

ボランティアの高齢化や担い手不足などの理由により、活動の継続が困難な団体や活動を縮小化する団体が増えているため、ボランティア団体の紹介や募集案内をSNS等で積極的に行うとともに、講座参加者をその場でマッチングするなどより多くの方を活動につなげるための方法を検討することが課題となっています。

3 連携・協働による福祉のまちづくり

(2) 地域福祉活動にかかる財源の確保

① 社協会員の加入促進

持続的に地域福祉を推進していくため、社協は、全戸会員制により住民の皆様を会員とする普通会員と、賛助・施設・団体・特別会員に区分を分けています。区分ごとに会員の加入促進と、福祉活動資金の確保に努めました。

区分	人員	口数	金額(円)	備考(円)
普通会員	42,824 戸	42,824 口	17,119,990 円	1戸年額 400 円
賛助会員(個人)	250 人	777 口	777,000 円	1 口 1,000 円
施設会員(施設)	25 施設	25 口	125,000 円	1 口 5,000 円
団体会員(団体)	13 団体	13 口	39,000 円	1 口 3,000 円
特別会員(企業等)	20 団体	27 口	87,000 円	1 口 3,000 円
計			18,147,990 円	(前年度)18,433,310 円
* 口数と金額に一部差異があります				

② 善意銀行

社協が行う、地区社協・ボランティア活動の支援等、社会福祉事業の推進に対して寄せられた金品を公正に活用しています。

() 内は前年度

ポップライフ指定寄附 (ポップライフ厚生文化基金)		こども基金指定寄附 (こども基金)		その他寄附金		物品	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	内容
11 件 (11 件)	863,728 円 (880,000 円)	1 件	5,000,000 円	51 件 (56 件)	2,034,968 円 (748,733 円)	255 件 (314 件)	ブルタブ・使用済手・ペットボトルキャップ ペットボトルキャップ換 金 : 2,349 円 ブルタブ換金 : 6,690 円 ギフトカード : 20,500 円 車椅子 : 40,000 円

◆◆◆成果◆◆◆

会費の納入についての積極的な広報、周知により、会費収入を維持することができました。また、こどもの福祉の増進につなげるための 500 万円の遺贈寄附をいただきました。

◆◆◆課題◆◆◆

藤枝市においても人口が減少している中、社協の事業を継続していくため、収入の維持、拡大が課題となっています。令和 5 年度に理事会の承認を得て「こども基金」を創設しました。「こどもの福祉に役立てて欲しい」という寄贈者の意思を受けて創設したものです。令和 6 年度は、新しい基金の創設を広く市民の皆様に周知し、善意の輪の拡大に繋げていくことが課題となっています。

その他の福祉活動

各種福祉施設を管理運営し、住民にとって使いやすい施設となるようサービスの向上に努めています。

(1)老人福祉センター藤美園（市指定管理）

高齢者の生きがいと健康づくりのため、市から指定管理を受け、高齢者福祉の拠点施設である老人福祉センター藤美園の運営を行い、地域に根付き、健康増進や教養の向上及びレクリエーションなど総合的な福祉の推進に努めました。建物を大規模改修により、令和4年1月にリニューアルオープンし、多くの人に利用されました。また、老人クラブ会員等援助に関する事業にも積極的に取り組みました。

開館日数	団体利用		個人利用				講座		利用者	
	団体数	人数	市内	市外	その他	計	回数	参加者人数	合計	
4月	25	62	687	1,133	5	7	1,145	17	147	1,979
5月	23	63	611	1,066	1	27	1,094	14	138	1,843
6月	26	74	813	1,250	3	16	1,269	18	158	2,240
7月	25	75	738	1,117	2	30	1,149	15	135	2,022
8月	26	62	608	900	0	22	922	12	114	1,644
9月	24	91	825	1,096	9	22	1,127	15	141	2,093
10月	25	90	841	1,222	5	36	1,263	16	133	2,237
11月	24	88	848	1,168	20	27	1,215	15	127	2,190
12月	24	89	799	974	23	34	1,031	13	101	1,931
1月	23	81	866	1,058	2	18	1,078	15	126	2,070
2月	23	79	775	1,150	0	22	1,172	18	138	2,085
3月	26	89	896	1,319	3	8	1,330	16	139	2,365
総計	294日	943団体	9,307人	13,453人	73人	269人	13,795人	184回	1,597人	24,699人
前年度	289日	691団体	7,025人	11,705人	16人	182人	11,903人	106回	1,191人	20,119人

◇◆◇成果◇◆◇

老人福祉センター藤美園は、高齢者の生きがいと健康づくり、憩いの場及び活動の場であるとともに、市老人クラブ及び単位老人クラブの活動拠点として、各種事業を支援しています。昨年度は、利用者数がコロナ前の水準以上の2万4千人を超える賑わいを見せました。この利用者増は、建物改修を含め志太温泉の効能などの好評が伝わり小部屋利用者とお風呂利用者が増えたためです。

◇◆◇課題◇◆◇

今後は、教室・講座利用者の増加に繋がる新規自主事業の展開と施設全体利用増となるPRが重要となります。また、老人クラブ支援は今後、新たな会員獲得の施策を充実し、クラブを活性化させることが必要です。

(2)生きがい対応型デイサービスセンター「藤の里」(市指定管理)・「きすみれの里」(市委託事業)

介護保険に該当しない高齢者を対象に、高齢者の自立生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上を図ることを目的として健康体操やレクリエーション活動等のサービスを提供する生きがい対応型デイサービスセンター「藤の里」と「きすみれの里」の運営を行いました。また、介護予防・日常生活支援総合事業を受託し、事業対象者の受け入れを行いました。

【藤の里】(担当地区：瀬戸谷・稲葉・葉梨・広幡・西益津・藤枝・青島の一部)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243日	239日
利用者数	284	283	317	301	314	281	319	297	290	263	285	280	3,514人	3,602人
総合事業	3	3	8	8	7	9	8	6	8	8	7	8	83人	71人
1日平均	14.5	14.4	15.0	15.5	14.6	14.7	15.7	15.2	15.2	14.3	15.4	14.4	14.8人	15.3人

【きすみれの里】(担当地区：葉梨・広幡・西益津・岡部)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243日	243日
利用者数	181	207	226	205	213	211	224	210	229	211	208	227	2,552人	2,209人
総合事業	17	18	21	16	16	16	17	13	16	17	22	21	210人	121人
1日平均	9.9	11.4	11.2	11.4	10.5	11.5	11.5	11.3	12.3	12	11.6	12.5	11.4人	9.6人

◆◆◆成果◆◆◆

施設を利用することにより、利用者が心身機能の維持向上や予防に対する意識を高めていくだけでなく、施設でのさまざまな活動や交流を通して、外出や会話の機会が少なくなった方などにもいきいきと過ごせる場となり、生活機能の維持改善への成果もあげています。

◆◆◆課題◆◆◆

「藤の里」「きすみれの里」の更なる利用者拡大が課題となっています。

(3) 福祉センター「きすみれ」(市指定管理)

市からの指定管理を受け、センターの貸館及び管理・運営と併せて住民の活動拠点となるよう施設の周知に向けた積極的なPRと自主事業の開催に努めました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開館日	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	25	27	307日	306日
貸館利用者	666	608	697	646	1,018	845	652	576	634	607	747	851	8,547人	7,917人
健康運動室 利用者	217	238	354	225	282	267	207	184	188	170	270	179	2,781人	2,715人
福祉団体室 ボランティア室	83	18	111	78	166	124	147	41	36	34	64	61	963人	1,435人
計	966	864	1,162	949	1,466	1,236	1,006	801	858	811	1,081	1,111	12,311人	10,760人

《自主事業》

講座名	実施日（回数）	参加延人数
楽らく！健康リンパ体操	4月12日～3月6日 12回	261人
デトックス・ヨガ(午前・午後の部)	4月7日～3月15日 24回	773人
きすみれわくわく広場「ベビーヨガ」	6月14日	11人
親子でリトミック	10月11日	31人
アロマ講座	10月31日	6人
ふるさとみかん山 収穫体験	12月10日	83人
己書講座	2月17日	14人
計	41回	1,179人
前年度	52回	1,048人

《センター防災訓練》

実施日：令和5年9月25日

内 容：自衛消防隊の情報伝達訓練、放水訓練、館内安全措置訓練

参加者：35人

◆◆◆成果◆◆◆

センター事業において、新型コロナウィルス感染症が5類となり、検温やマスク着用等の感染拡大防止対策を緩和し、健康運動室、貸館の利用者が増加しました。自主事業では、子育て支援センターちびっこルームと連携し、未就園児の親子を対象とした「きすみれわくわく広場」を開催し、ベビーヨガでは父親参加の枠を広げ若い世代の来館者の増加に努めました。

◆◆◆課題◆◆◆

より来館者を増やすために福祉センターきすみれのPRや魅力ある自主事業づくりが課題です。

(4)放課後児童クラブ(市放課後児童健全育成事業)

仕事と子育ての両立支援のため、市から市内 17 小学校にある全 29 の児童クラブの運営委託を受け、保護者が労働等により昼間家庭にいない 1 年生から 6 年生の児童を放課後等に預かり、遊びや生活の場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年比
開所日	21	21	23	21	23	21	22	21	20	19	20	21	253 日	255 日
実利用者数	1,368	1,327	1,315	1,320	1,382	1,274	1,248	1,240	1,238	1,203	1,175	1,202	15,292 人	15,308 人

①県が主催する研修会への参加

発達障害児に関する知識の習得や対応スキル向上のため、静岡県主催の放課後児童支援員等資質向上研修（実地研修や聴講研修）に参加し、保育の質の向上に努めました。

《令和 5 年度放課後児童支援員等資質向上研修（実地研修）》

実施日：①10 月 10 日、13 日 ②9 月 21 日、22 日 ③9 月 13 日、22 日、10 月 11 日

会 場：①すこやか第 1 児童クラブ ②すこやか第 3 児童クラブ ③みなみっこ第 3 児童クラブ

内 容：発達障害児の知識の習得のほか、県から派遣されたアドバイザーの助言による困難事

例ケースへの円滑な対応が図れるためのスキルの向上を目的とした実地研修

参加者：①8 人（指導員、市社協職員）②11 人（指導員、市社協職員）③15 人（指導員、市社協職員、市担当課職員）

主 催：静岡県健康福祉部こども未来局こども未来課

《令和 5 年度放課後児童支援員等資質向上研修（聴講研修）》

実施日：11 月 17 日

会 場：静岡県コンベンションアーツセンター

内 容：子どもの発達に応じた遊びの支援・見守りについての研修

講 師：白梅学園大学こども学部こども学科教授 仲本 美央氏

参加者：25 人（巡回指導員、11 クラブの指導員）

主 催：静岡県健康福祉部こども未来局こども未来課

②市が主催する研修への参加

発達障害がある児童や愛着の問題を抱える子どもの理解や支援方法を習得し実践に結び付けられるよう、市が主催する研修へ参加し、保育の質の向上に努めました。

《藤枝市発達障害児者療育支援研修会》

実施日：8 月 10 日

会 場：藤枝市生涯学習センター

内 容：愛着の問題を抱える子どもの理解と支援についての研修

講 師：和歌山大学教育学部教授 米澤 好史氏

参加者：8 人（巡回指導員、すこやか第 3 児童クラブ主任及び補助指導員）

主 催：藤枝市こども発達支援センター

《放課後児童クラブ「発達障害」研修会》

実施日：12月15日

会 場：えだっこ児童クラブ

内 容：発達障害がある児童の生きづらさを理解し実践に結び付けるための研修

講 師：藤枝市こども未来応援局こども発達支援センター 常泉 美紗子氏

参加者：21人（巡回指導員、いくしん・えだっこ児童クラブ指導員）

主 催：藤枝市こども課

③法人または市の協力による研修、法人内研修の実施

円滑に業務が遂行できるよう、また、緊急時に速やかな救急対応がとれるよう、指導員の資質向上を図るための各種研修を実施しました。また、研修内において、現場での支援を踏まえた指導員同士での話し合いにより、児童との向き合い方への理解習得や、より具体的な支援方法を学ぶ機会となりました。

《放課後児童クラブ主任指導員研修》

実施日：5月15日、25日、6月19日

会 場：福祉センターきすみれ

内 容：労務管理や契約事務等、業務を遂行するための基礎知識の向上を図る

参加者：31人

《藤枝市子ども・若者総合サポート会議研修会》

実施日：①6月1日、令和6年2月8日、9日、15日

会 場：①福祉センターきすみれ、いなば児童クラブ、ふじっこ児童クラブ、なかよし児童クラブ

内 容：藤枝市版こどもリスクアセスメントシートの導入に向けての研修

講 師：静岡福祉大学准教授 灰谷 和代氏

参加者：38人（主任指導員他）

協 力：藤枝市子ども・若者支援課

《第1回放課後児童クラブ指導員「救急法」研修会》

実施日：①6月8日、②6月14日、③6月20日、④6月27日

会 場：①②すこやか第2児童クラブ、②まつばっこ第1児童クラブ、③ひがしつこ第2児童クラブ

内 容：心肺蘇生法の実技指導、誤飲による窒息の応急処置を学ぶ

講 師：志太消防本部 救急救命士

参加者：延べ82人（主任指導員、補助指導員）

協 力：志太広域事務組合志太消防本部

《放課後児童クラブ指導員研修会》

実施日：12月12日から令和6年1月31日まで

会 場：各児童クラブ

内 容：指導員の資質の向上と、発達障害がある児童等の円滑な受け入れを行うための、動画視聴による研修

参加者：延べ159人（主任指導員、補助指導員）

《放課後児童クラブ補助指導員研修会》

実施日：①令和6年2月2日、②2月8日、③2月15日、④2月20日、⑤2月26日

会 場：①福祉センターきすみれ、②えだっこ児童クラブ、③すこやか第3児童クラブ、④ひがしつこ第2児童クラブ、⑤まつばっこ第1児童クラブ

内 容：発達障害の理解について、また、現場の状況を踏まえたグループディスカッションを交えて研修

参加者：延べ75人（補助指導員）

④各種マニュアルの整備

円滑かつ適切に事務処理を行うため、主任指導員マニュアル、契約事務マニュアル、勤怠マニュアルを作成し、主任指導員への研修を行いました。また、安全なクラブ運営に向けて、クラブごとに安全計画を作成し、計画に基づき、各種訓練（水防、地震、不審者、火災）や施設の安全点検を実施しました。

◆◆◆成果◆◆◆

新型コロナウイルス感染症が5類となり、最低限の感染対策を行いながら、誕生日会や野菜の収穫体験、ハロウィン等のイベント開催などコロナ禍以前のように様々な行事が行えるようになりました。また、各種マニュアルの整備により事務処理の正確さをより追及できるようになる等、職員個々の意識の向上につながりました。

◆◆◆課題◆◆◆

発達障害や様々な特性を抱えた子どもの理解や児童との接し方や声掛け等の日々の実践におけるスキルアップ等、児童の多様性に応じた保育の質が課題です。

また、各児童クラブの円滑な業務の遂行が果たせるよう、事務局のフォローアップや法人内部の部署連携を今後も継続していきます。

法人組織体制の強化

(1) 理事会・評議員会

各団体からの参画をいただき、理事（定数 14 人）及び評議員（定数 28 人）のもと各事業を執行しました。

①理事会の開催状況

開催日	審議事項
4月1日 (第1回) 書面開催	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会 常務理事の選定について
6月14日 (第2回)	2. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業報告の承認について 3. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計決算の承認について 4. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第1号)について 5. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 6. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和5年度第1回評議員選定委員会の招集について 7. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和5年度第1回評議員会の招集について
9月19日 (第3回)	8. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 9. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について 10. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第2号)について 11. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和5年度第2回評議員会の招集について
12月11日 (第4回)	12. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会就業規程の一部改正について 13. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会再雇用規程の一部改正について 14. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第3号)について 15. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和5年度第3回評議員会の招集について
令和6年 3月12日 (第5回)	16. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会こども基金規程の制定について 17. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会生活会議事業所ポップライフ厚生文化基金規程の一部を改正する規定について 18. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について 19. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について 20. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(案)(第4号)について 21. 役員等賠償責任保険契約について 22. 令和6年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業計画について 23. 令和6年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支予算について 24. 藤枝市社会福祉協議会評議員選定委員の選任について 25. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和5年度第4回評議員会の招集について

②評議員会の開催状況

開催日	審議事項
6月29日 (第1回)	1. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計決算の承認について 3. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第1号)について 4. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会理事の選任について
9月29日 (第2回) 書面開催	5. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第2号)について
12月20日 (第3回)	6. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第3号)について
令和6年 3月26日 (第4回)	7. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規定の一部を改正する規定について 8. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会最終補正資金収支予算(案)について 9. 令和6年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業計画(案)について 10. 令和6年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会資金収支当初予算(案)について

③評議員選定委員会の開催状況

開催日	審議事項
6月19日 (第1回)	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員の選任について

④三役会の開催状況

開催日	審議事項
6月8日 (第1回)	・藤枝市社会福祉協議会 評議員の選任について ・藤枝市社会福祉協議会事業報告及び会計収支決算について
9月13日 (第2回)	・令和5年藤枝市社会福祉協議会中期経営計画策定方針について ・藤枝市社会福祉協議会組織機構について ・規程の改正(就業規定、再雇用規程、給与規則、経理規則、決裁規程)について ・健康福祉大会表彰者について
12月8日 (第3回)	・令和5年藤枝市社会福祉協議会就業規程の一部改正について ・藤枝市社会福祉協議会再雇用規程の一部改正について ・令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第3号)について
3月8日 (第4回)	・令和6年度収支予算及び事業計画について

(2)事業・会計監査

令和5年6月7日 令和4年度社協事業及び会計決算監査

令和5年12月26日 令和5年度上半期社協事業及び会計決算監査

(3)法人改善計画に基づく取組

①公認会計士による定期的なアドバイス

令和3年12月に作成した計画に基づき、公認会計士と顧問契約を結び法人の経理について助言を受けています。日々の経理業務における疑問点や執行に関するアドバイス等を受けるとともに、月1回程度、経理状況の確認を受けています。

②勤怠管理システムの拡充

勤怠システムを導入する部署を増やし、業務の効率化をすすめています。

(4)福祉サービス苦情解決事業

広く皆様からのご意見を伺うため、社協で運営している各施設に意見箱を設置して苦情等の受け付けをしました。

苦情件数	苦情受付	苦情内容	結果
6	電話 口頭	<ul style="list-style-type: none">・放課後児童クラブ主任指導員の言動について・放課後児童クラブにおける保護者負担金の受領について・生活介護事業所ポップライフ送迎スタッフの配置について・生活介護事業所ポップライフのナイトケアの運営について・放課後児童クラブ指導員の行動について・放課後児童クラブにおける配慮が必要な児童の対応について	解決

(5)職員研修会

職務意識向上と専門知識を深めるため、県社協などが行う外部研修へ参加しました。

外部研修	市町社会福祉協議会新任職員研修会、成年後見制度市町長申立に係る実務研修 藤枝市発達障害者療育支援研修会、障害者虐待防止・権利擁護研修、CSW実践者養成研修修了者スキルアップ研修（継続研修）、相談支援従事者現任研修、相談支援従事者初任者研修、重度心身障害児（者）対応看護従事者研修、精神科訪問看護基本研修、在宅医療部会、緩和ケア検討会、放課後児童支援員認定資格研修、包括的相談支援体制構築事業人材養成研修、全国福祉教育推進研修、生活支援コーディネーター養成研修、成年後見制度意思決定支援研修、地域包括支援センター初任者研修、高齢者虐待対応力強化研修
------	--

(6)組織体制の強化

内部研修	職員研修、在宅福祉センター衛生委員会、感染症対策研修会 等
------	-------------------------------

※その他、各他団体等が主催する委員会の委員として参加

(7) 地域福祉活動計画推進懇話会

行政の地域福祉計画とともに、第5次地域福祉活動計画の進捗管理のために地域福祉活動計画推進懇話会を市の地域福祉計画推進懇話会とあわせて開催しました。

【第1回】

開催日：令和5年6月26日

内 容：令和4年度第5次地域福祉計画及び地域福祉活動計画の事業報告について（市・社協）
成年後見制度利用促進基本計画について（市）
社会福祉法人に係る地域協議会について（市）
災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成推進事業について（市）

【第2回】

開催日：令和6年1月25日

内 容：報告事項

- ・令和5年度上半期事業地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗状況（上半期）について
- ・成年後見制度利用促進部会報告
- ・第6次藤枝市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定について
- ・避難行動要支援者意向調査の結果について

協議事項

- ・担い手の確保について

◆◆◆成果◆◆◆

法人を適切に運営するために、役員会の開催や職員の育成を行うことができました。また、法人改善計画を元に、法人の現状把握や改善方法について専門家から助言を得て、経理面での運営強化を図りました。

◆◆◆課題◆◆◆

財務の強化を図りながら、地域の福祉を支える職員の確保を進めることができます。

令和5年度 事業報告書の附属明細書

該当する事項無し

